



できるを
かされる
6年間

SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL
2023



佐野日本大学中等教育学校

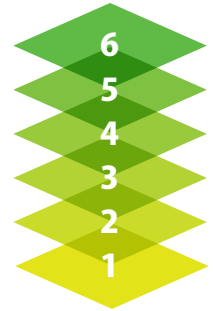
志と目標を持つ人、 具体的に動く人を育てたい。

校長
船渡川 重幸
Shigeyuki Funatogawa

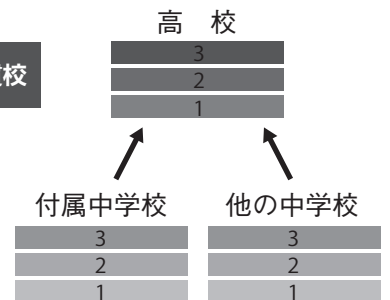
本校は、佐野日本大学高等学校の付属中学校として22年間、その後、栃木県初の中等教育学校として12年間の歩みを持つ学校です。本校が中等教育学校という形態をとるのは、一つの学校として12歳から18歳の青少年を育てるのに、極めて有効だからです。一般に併設型と呼ばれる中高一貫校と中等教育学校とは一線を画します。入学したときから他の中学校からの生徒とまじることなく、6年後の大学入試を目標にプログラムを組み、教育を展開することができるのです。特に私たちが重視している前期課程(1~3学年)は、生涯の土台となる、本当に大切な3年間です。この3年間でどこでどう過ごすかが、大学入試に、ひいては一生に影響を与えると言ってもよいと思います。本校での6年間を形づくる教育理念と独自の教育プログラムは、様々な試行錯誤を重ねたものであり、それは今も進化し続けています。

本校の教育目標の「磨こう心、輝く知性、拓こう未来」は、そのまま、生活指導、学習指導、進路指導のそれぞれの目標を集約し一言で述べたものです。私はこの教育目標を通して、志と目標を持つ人、具体的に動く人を育てたいと思っています。たとえば、人を救いたいという大きな「志」を持ち、そのために、ワクチンの開発という「目標」を立て、そしてその達成のために「具体的に動く」というように。世界が今抱えている様々な問題も、志と目標を持ち、具体的に動く人によって必ず解決していく、世界はもっと良くなっていくと私は信じています。そして本校に学ぶ子どもたちが、その一翼を担う存在になると、私は確信しています。

中等教育学校



併設型一貫校



できるを かされる 6年間



今回の新型コロナウイルス感染症に伴う様々な対策の中で、最も大きく変化したのは、リモート授業の伸展です。本校では、全生徒が個人のパソコンを持ち、いつでもリモート授業を通じて、オンラインによる双方向授業ができる体制を整え、様々な取り組みを行っています。しかし、最も重要なのは対面授業であり、その水準を高く保つべく、本校の教師は日々努力し、生徒たちと向き合っています。

学校教育の基本は授業であり、本校では、入学当初から大学入試を意識した授業が展開されます。まずこのことが、本校の持つ大きな特色だと言えます。本校には、日本大学を目指す付属校としての側面と、国公立大学・難関私立大学等、他の大学を目指す進学校としての側面があります。そしてそれぞれ、「日本大学付属高校等基礎学力到達度テスト」、「大学入学共通テスト」を具体的な突破目標として、入学当初から様々な指導が行われます。たとえば、英語科では全学年、ケンブリッジ大学出版のテキストを採用し、またケンブリッジ英検も実施しています。さらに1年生から少人数授業を行います。また、6年間の発達段階に合った様々な体験学習・学校行事が配置されています。さらにスクールカウンセラーも常駐し、生徒の心を支えます。

このように、様々な工夫を凝らし、6年間生徒の知的好奇心を刺激する教育活動を行っています。小学生のみなさん、保護者のみなさまには、外からではわからない佐日中等の中身を、実際に本校の説明会等に参加し、肌で感じられることをおすすめします。



教頭
榊原 茂明
Shigeaki Sakakibara

6年間のアウトライン

佐日中等は、6年間の一貫教育を行います。したがって、学習へのモチベーションをどう保つかはとても大切なテーマです。本校では、子どもたちの発達段階に合わせて、様々な体験学習・体験行事を組み込んでいます。ベースになるのは、ふだんの学校生活ですが、各体験行事は、日々の学習にいろどりと与え、子どもたちの意欲と成長を促します。佐日中等の行事は、文化祭や体育祭の他に、プリティッシュヒルズ英語研修や海外研修など、視野を広げるグローバル教育を重視した研修行事が多いのが特徴です。

6

卒業式
大学入試

5

イギリス研修旅行

4

国内研修

3

国内研修

2

国内研修

1

入学式
国内研修
エコプロダクツ展



自分を高め、できるを増やす。
じっくり取り組む6年間。



支える I [スタッフ]

クラス担任や各教科担当教師は言うに及ばず、養護教諭、スクールカウンセラー等、子どもたちに接するスタッフは一つのチームです。互いに連携をとり、それぞれの持つ専門的な視点から、頑張る子どもたちを支えます。



社会・地歴公民科
島田 真理子 Mariko Shimada



英語科
大橋 優生 Yuki Ohashi



管理係
稲葉 力 Chikara Inaba



英語科
マーシー・アイエ・ブラッチ Mercy Ayeh-Brachie



保健体育科
細田 晃良 Teruyoshi Hosoda



家庭科
岡本 博美 Hiromi Okamoto



養護教諭
岡村 公美 Kumi Okamura

一人ひとりが大事な個性。 チームで支える努力と継続。



数学科
八下田 久美子 Kumiko Yageta



音楽科
日景 浩美 Hiromi Hikage



美術科
長島 正志 Masashi Nagashima



スクールカウンセラー
竹村 一夫 Kazuo Takemura



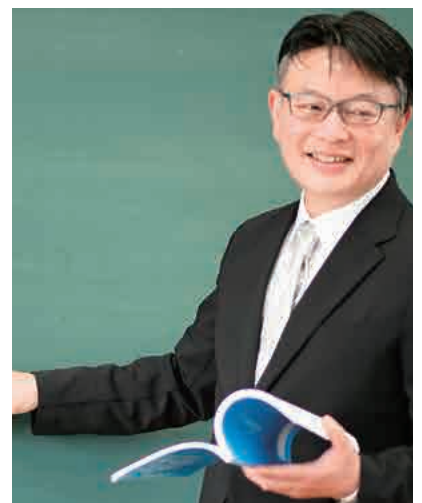
理科
廣井 雅典 Masanori Hiroi



英語科
栗原 キャリー マリア Callie Maria Kurihara



事務局
荒井 奈津美 Natsumi Arai



国語科
大澤 克至 Hiroshi Osawa

支えるⅡ [放課後学習]

子どもたちは、日々変化します。必要なのは、変化のきざしを見つける目。
学校生活の様々な場面で、私たちは子どもたちを見つめ続けます。



進路指導

見つめる、分析する、声をかける。 支えるチャンスは逃がさない。



CAI教室



中等理科室



イングリッシュルーム



図書館



個別指導(自習コーナー)



個別指導(自習コーナー)



オンライン授業

6年間を終えて [新卒業生]

令和4年3月1日、6年間の教育課程を終え、第9期生たちが卒業していきました。
 本校で過ごす年月は、終わってみれば皆、「あっという間だった」と言います。
 一人ひとりにはダイヤの原石。本校での2190日でさらに輝きを増していきます。

こんな
6年間でした。

$$365 \times 6 = 2190$$



一生の
出会い。

日本大学 医学部医学科

渡邊 日菜詩

Hinata Watanabe
久喜市立砂原小学校



顕桜祭が
楽しかった。

北海道大学
総合理系物理重点

井野 巧大

Koudai Ino
桐生市立広沢小学校



最高の
出会い。

東京薬科大学 薬学部薬学科

大西 優衣

Yui Onishi
足利市立南小学校



つながりの
多かった6年間。

東京理科大学
理工学部電気電子情報工学科

岸 知輝

Tomoki Kishi
館林市立美園小学校



精一杯考えられた。
何でも話せる
友達ができた。

群馬大学
理工学部物質・環境類

川原井 麻衣

Mai Kawarai
栃木市立岩舟小学校



密度の濃い
6年間。

立命館大学
薬学部創薬科学科

齋藤 翼羽

Tsubasa Saito
太田市立葎川小学校



誰もがダイヤの原石。 輝きを増していく6年間。



自分を成長
させてくれた。

芝浦工業大学
システム理工学部電子情報システム学科
亀田 一成
Issei Kameda
佐野市立出流原小学校



将来の目標が
できた。

津田塾大学
総合政策学部総合政策学科
麦倉 舞
Mai Mugikura
栃木市立岩舟小学校



やさしく
なれた。

日本大学 生物資源科学部獣医学科
関根 陸斗 Rikuto Sekine
加須市立加須南小学校



永遠に続く
私の宝島。

日本大学 文理学部心理学科
山中 南乃 Nanno Yamanaka
高崎市立新町第一小学校



イギリスの
ホームステイが
忘れられない。

北海道大学
総合理系物理重点
安田 琢真
Takuma Yasuda
館林市立第十小学校



仲間と共に
学べた。

山形大学 理学部理学科
藤島 涼太
Ryota Fujishima
足利市立けやき小学校



成長できた
6年間。

日本大学 法学部法律学科
長谷川 美新 Minii Hasegawa
栃木市立三鴨小学校



大学生・大学院生・社会人

本校での6年間を終え、大学等に進学した卒業生たちは、実に様々な道に進みます。
本校のプログラムは、まさにジャンピングボード。長い人生、自分の能力を十分に発揮し、
自分を幸福にし、他者を幸福にする道の土台をつくります。



日本大学 医学部医学科

竹石 雄一

Yuichi Takeishi

医学部での4年間の学習を終え、本格的に病院実習が始まりました。6年生の夏までにすべての診療科を実習し、国家試験を目指すことになります。今までは知識を入れることを学習の中心にしてきましたが、これからは学んだ知識やスキルを、実際に現場で使うことが求められます。また、指導医の先生や看護師さんたちとコミュニケーションをとっていくことも必要です。医師として、一人の社会人として、もっともっと成長していけるように頑張っていきたいと思っています。



東北大学

農学部生物生産科学科
海洋生物科学コース 3年

大木 颯斗

Hayato Okii

佐日での一番の思い出は6年の時の文化祭ですね。本当に売れるのか…?と思うほど大量のアイスをクラスの皆で協力して売り切ったことはとてもいい思い出です。
今はコロナ禍の影響でオンライン授業になる事が多々ありますが、少しずつ対面で実施する授業も増えてきています。将来は、専攻している生物の研究で日本の漁業に貢献できることをしたいと思っています。



埼玉医科大学医学部医学科

荒木 人士也

Toya Araki

医師を目指したのは、身近に病気で苦しんでいる人がいたため、何とかできないかと考えたからです。医学部に入ってから、大学入試時以上に勉強の日々ですが、毎日が充実しています。

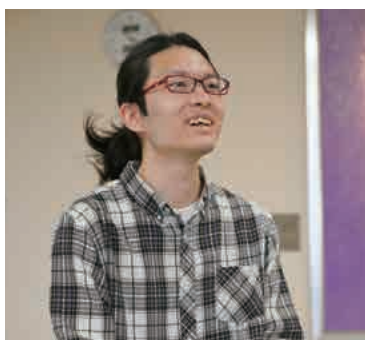


一橋大学 法学部 2年

亀田 英太郎

Eitarou Kameda

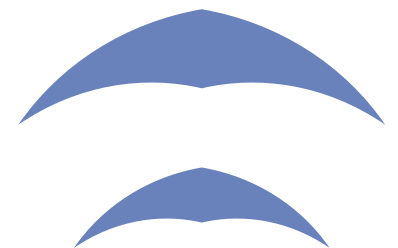
現在は一橋大学の法学部で、実定法学を学んでいます。本校在学時にご教授いただいた効率的な勉強のノウハウは、今の学習にも活かしています。



東京大学大学院
工学系研究科電気系工学専攻

前出 裕亮 Yusuke Maede

大学院では送電線の電流を安全に遮断するための遮断器の研究をしています。より高性能で、かつ環境に優しい製品にするために、日々試行錯誤を繰り返しています。



GRADUATES

6年間はジャンピングボード。 もっともっと高く飛ぼう。



第二東京弁護士会所属
三宅坂総合法律事務所 弁護士

伊部 隆登 Takato Ibe

紛争解決業務全般(商事・労働・相続・家事・一般民事等)をはじめ、事業承継やM&A等のトランザクション、各種の法律業務を手掛けています。



石川テレビ株式会社
報道部

森下 冬桜 Yuki Morishita

今年金沢大学を卒業し、4月からは、石川テレビの報道部で記者として働いています。地方局として、石川県内で起きた事件・事故の取材だけでなく、地域に根差して活動する人や文化、伝統をより多くの方々に伝えています。



ピアニスト
佐野日本大学短期大学講師

川田 将人 Masato Kawada

私が本校を選んだのは、多様・多彩な生徒が集まっていて、そのなかで学ぶことで、自分の将来の選択肢を広げることができるのではないかと考えたからです。在学中は勉強と部活動に加え、ピアノの練習があり、忙しい毎日でしたが、同じような友人も多く、おかげで最後まで頑張ることができました。現在はピアノ演奏者としての活動に加え、佐野日本大学短期大学や、都内の大学で幼児音楽教育の研究者として活動しています。



獨協医科大学
総合診療科後期研修

黒岩 祐哉

Yuya Kuroiwa

現在は、獨協医科大学の総合診療科で後期研修をしています。病棟管理や内科・救急外来、救急車診療など業務は多岐に渡りますが、日々充実して過ごしています。自分の知識や技術に悩むことが多いですが、指導医の先生に助けをいただきながら診療しています。大変な時でも、いつも笑顔を忘れずポジティブでいるように心がけています。幅広い視野を持った内科医になれるよう日々成長していきたいです。



佐野日本大学学園 国語科

寺内 真里奈

Marina Terauchi

日々の授業が、生徒たちにとって「わかる授業・楽しい授業」となるよう心がけています。そのために、発問や活動を工夫したり、自分自身の声や表情、言葉などを明るくするよう意識したりしています。また、合唱部の顧問として、部員の技術向上や、楽しい活動ができるようサポートしています。これからも、生徒にとって学校が、安心して自分らしく過ごせる場所、成長できる場所になるよう手助けしていきたいと思っています。



陸上自衛隊
東部方面ヘリコプター隊
第2飛行隊・2等陸尉

黒岩 洋介

Yosuke Kuroiwa

空を飛ぶことは、私の幼いころからの夢でした。初めて飛んだときの、空と海の美しさや、自分が本当に飛んでいることに感動したことを、今でも鮮明に覚えています。災害派遣等の任務においては、操縦士の技量が任務の成否に直結するため、日々の訓練にはとてもやりがいを感じ、充実した毎日を送っています。



佐野日本大学学園 理科

平川 竣一

Shunichi Hirakawa

授業では、「理科を身近に、面白く、わかりやすく」をモットーに、生徒たちと毎日共に学んでいます。また、放課後は、選手として10年間プレイしたソフトテニス部の顧問として、日々楽しく部員たちと活動しています。今後も、文武両道を体現し、精進していくつもりです。

学びを深める、学びを広げる

学校である以上、学習が中心であるのは言うまでもありません。佐日中等には高校入試がなく、次に受験するのは大学入試です。そこで佐日中等では、入学した当初から大学入試を意識し、じっくり指導していきます。



みんな持ってる成長の伸びしろ。
基礎を固めて後伸びしよう。



人間形成 I [学校生活・行事・体験学習]

本校での様々な体験学習は、文字通り、体験してこそ真価を発揮します。学習を生活の中心に据えつつ、様々な体験を通して、青春を謳歌することもとても大切です。



顕桜祭(体育祭)(平成28年度)

SCHOOL LIFE



顕桜祭(文化祭)



顕桜祭(体育祭)



顕桜祭(文化祭)

いつかは思い出になる学校生活。 大切なのは取り組む姿勢。



遠足



スキー教室



プリティッシュビルズ英語研修



キャリアエデュケーション／フジテレビ番組制作体験



国内短期研修



エコプロダクツ展



立志式



※行事は諸事情によって変更になる場合があります。

人間形成Ⅱ [部活動・グローバル教育]

部活動やグローバル教育関係の行事も、生徒たちの視野の広がり大きく寄与します。

入学したら、興味のアナテナを大きく広げましょう。そして、やりたいと思ったらためらわずにやってみましょう。



和太鼓部



管弦楽部

CULTURE



ソフトテニス部



合唱部



英語研究部(SELC)

SPORT



サッカー部



バスケットボール部



書道部



ディベート部

一歩が開く広い世界。
自分で拓こう、自分の可能性。

GLOBAL



マレー半島フィールドワーク



イギリス研修旅行



シンガポールフィールドワーク



オーストラリアフィールドワーク



SDGs教室



「服のチャラプロジェクト」(ユニクロとコラボ)



国際交流活動(Share the Wonder)



プロフェッショナルトーク



海外オンライン交流



海外オンライン交流



進路指導

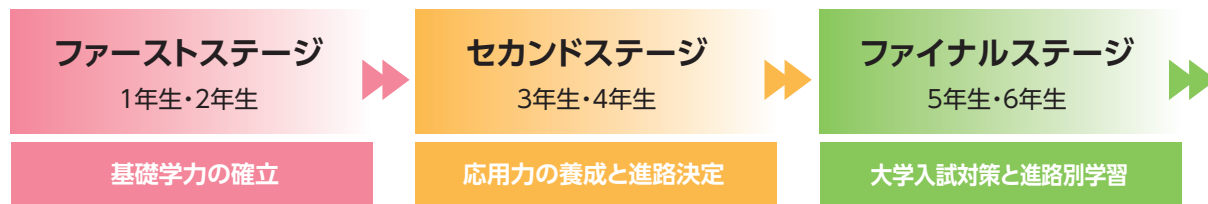


進路指導では、その生徒にふさわしい、その生徒にとっての最適な方向を共に探すことに主眼を置いています。校訓にある師弟同行の精神で、生徒一人ひとりにふさわしい進路を、6年間かけて探していきます。



生徒一人ひとりにとってのベストを探す。 進路指導は、**生き方指導**だ。

■6年間の学習指導 ※行事は諸事情によって変更になる場合があります。



ファーストステージ

1年生・2年生

基礎学力の確立

- 春季特別講座
- 進路講演会
- エコプロダクツ展研修・国内研修
- 校内夏季セミナー
- 学力推移調査
- 定期試験

セカンドステージ

3年生・4年生

応用力の養成と進路決定

- 卒業生大学合格体験談
- 国内研修
- 進路講演会・進路適性検査
- 校内夏季セミナー・校外夏季セミナー
- 日本大学基礎学力到達度テスト対策
- 各種模試
- 学力推移調査
- 定期試験

ファイナルステージ

5年生・6年生

大学入試対策と進路別学習

- 大学入試スタート
- 大学入学共通テスト対策
- 日本大学基礎学力到達度テスト対策
- 日本大学進学講演会
- 校内春季セミナー・校外春季セミナー
- 卒業生大学合格体験談
- 海外研修旅行
- ブリティッシュヒルズ語学研修
- 校外夏季セミナー
- 各種模試
- 定期試験

志と目標を持って、具体的に動く人へ

基礎
学力

定期試験
学力推移
調査

応用力
養成

進路
サポート

大学入試
対策

進路別
学習

ファーストステージでは、日々の学習習慣を身につけ、論理的読解力、数学的思考など基礎的な学力の定着を図るとともに、年4回の定期試験と年3回の学力推移調査で学習の理解度を把握し、次のステップへ向けて学力をつけていきます。

セカンドステージでは、ファーストステージでの学びの上に進路講演会・卒業生体験談などを通して自己実現をめざした将来のあり方を探ります。一貫教育の利点を活かした先取り学習、習熟度別のゼミや各種セミナーを実施し、応用力に磨きをかけ、ファイナルステージにつなげます。

ファイナルステージでは、希望進路の実現に向けて発展的学力を養成します。5年次に後期課程の学習内容をほぼ終了し、6年次は大学入試対策のため実践的な演習授業を中心に大学受験に備えていきます。





ここに集まる。互いに支える。
そして見つける、わたしの未来。



ご挨拶

佐野日本大学中等教育学校の特徴は、本校独自のプログラムの中で、様々な地域から集まってくる子どもたちによって自然に生み出される「強い成長への志向」にあると思います。教育とは多分に意図的な営みですが、本校の生徒たちは、私たちの意図や想定を超えて、より高く飛ぼうとします。私たちにできることは、生徒の様々なチカラを高めるサポートです。

一人の人間の一生に係る大切なこの時期には、適切なプログラムと、何より適切な時間が必要です。私たちはこのことを踏まえ、6年かけて、子どもから大人へと大きく変わる、この12歳から18歳の大切な時間を、しっかり支えていきます。

理事長 **長谷川 弘** Hiroshi Hasegawa





■ 各種行事日程

入学説明会・進路相談会 児童・保護者対象

〈内容〉①本校の概要説明 ②令和5年度入試要項の説明
③校内見学 ④進路相談

- 6月 25日(土) 11:00~/12:00~/13:00~
- 7月 16日(土) 10:00 ~ 11:30
- 8月 6日(土) 10:00 ~ 13:00
- 8月 28日(日) 10:00 ~ 11:30
- 9月 11日(日) 9:00 ~ 13:00
- 9月 25日(日) 10:00 ~ 11:30
- 10月 9日(日) 9:00 ~ 13:00
- 11月 3日(木祝) 10:00 ~ 11:30
- 12月 3日(土) 10:00 ~ 11:30
- 1月 14日(土) 10:00 ~ 11:30

体験学習会 児童・保護者対象

- 6月 25日(土) 9:00~15:00 文化祭見学会
- 7月 16日(土) 10:00~11:30 授業見学会
- 8月 6日(土) 10:00~13:00 模擬授業体験/部活動見学・体験

佐日中等模擬試験 児童対象

〈内容〉①科目:国語・算数
②時間・配点:各50分・各100点
③検定料は無料です。

- 第1回 8月 28日(日) 9:00受付
- 第2回 9月 25日(日) 9:00受付

※各行事の詳細は本校ホームページをご覧ください。



佐野日本大学中等教育学校

〒327-0192 栃木県佐野市石塚町2555 TEL 0283-25-0111 FAX 0283-25-0441
<https://ss.sano-nichidai.jp>

